平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月２日

上 場 会 社 名　　株式会社リーガルコーポレーション　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　7938　　URL　http://www.regal.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　岩崎　幸次郎
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役　管理本部長　（氏名）　亀田　元之　　(TEL) 047-304-7084

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月14日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	16,970	4.7	1,032	30.0	1,364	59.7	945	106.0
24年３月期第２四半期	16,211	2.2	794	111.5	854	195.1	459	－

(注) 包括利益　25年３月期第２四半期　　920百万円(　52.6%)　24年３月期第２四半期　　603百万円(　　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	31.64	31.48
24年３月期第２四半期	15.35	15.30

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	29,416	10,704	36.1
24年３月期	29,772	9,873	32.9

(参考) 自己資本　25年３月期第２四半期　10,626百万円　　24年３月期　9,802百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	3.00	3.00
25年３月期	－	0.00			
25年３月期(予想)			－	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	0.1	2,100	△13.7	2,400	△11.8	1,500	△23.2	50.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は【添付資料】４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	32,500,000株	24年３月期	32,500,000株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	2,616,037株	24年３月期	2,613,518株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	29,885,240株	24年３月期２Ｑ	29,904,661株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ（３）「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……１１
（５）セグメント情報等 ……１１
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……１２

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等もあり、企業の業況も緩やかではあるものの回復の兆しが見られました。しかしながら、欧州債務危機を巡る不確実性が依然として高いなか、国内での電力供給の制約や消費増税、雇用、社会保障の将来不安要素などにより、依然として先行きが不透明な状況となっております。

当靴業界におきましても、異業種を交えた競争の激化や、震災をきっかけとしたライフスタイルや消費マインドの変化などにより、品質や付加価値の高い商品が売上を伸ばす一方で、不安定な気候が季節商材の販売動向を遅らせるなど、持ち直しつつあった個人消費に足踏みが見られるようになってまいりました。

このような環境のなか、当社グループは、ブランド特性に応じた販売チャネル別の営業体制の下で、店頭売上を重視した営業活動を展開し、主力である「リーガル」は、「信頼・信用」の代表ブランドとして競争力と付加価値の高い商品の開発・提案を行ってまいりました。また、顧客ニーズに対応したカジュアル・コンフォート商品の開発強化などに注力するとともに、販売施策による売上総利益率の改善にも取り組んでまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は16,970百万円(前年同四半期比4.7%増)、営業利益は1,032百万円(前年同四半期比30.0%増)、経常利益は1,364百万円(前年同四半期比59.7%増)となりました。また、四半期純利益は945百万円(前年同四半期比106.0%増)の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（靴小売事業）

ブランド・業態別では、「リーガルシューズ店」、「ナチュラライザーショップ」、「シューズストリート（ネット通販）」、「クラークスショップ」および「アウトレット店」が売上を伸ばすなど順調に推移いたしました。主力ブランドである「リーガル」を中心に、梅雨時対応や吸汗、速乾性に優れた素材を使用した商品など、顧客ニーズに対応した付加価値の高い商品が好調に推移いたしました。「リーガルシューズ店」では、例年実施していた６月後半からの会員向けセールを取りやめ、プロパー販売に注力するなどの販売施策を実施し、収益面で貢献いたしました。

また、春先からの天候不順に加え、９月前半まで続いた猛暑の影響により季節商材の購買動向が例年とは変化し、季節先取り購入から実需期購入の傾向がより強くなってきており、「ナチュラライザー」を中心に晩夏サンダルの商品提案等を実施し、売上増加に貢献いたしました。

当第２四半期連結累計期間の出退店につきましては、ナチュラライザーイオンモールナゴヤドーム前店など計４店舗を出店し、クラークス福岡天神店など計２店舗を閉店いたしました結果、直営小売店の店舗数は、134店舗（前年同四半期末比３店舗増）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は8,112百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は453百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

(靴卸売事業)

紳士靴は、商品開発強化に注力した主力である「リーガル」が安定した売上で前年実績を上回りました。ビジネス・カジュアルシューズの両カテゴリーともに、カラーバリエーションや独特の仕上げ感を持った新製品が好調に推移いたしました。履き心地を重視した「リーガルウォーカー」については全国紙を利用した新聞広告やDM等で訴求した重点商品が顧客の支持を得ました。また、品質にこだわった上級ブランドである「シェットランドフォックス」や、値ごろ感のある「ケンフォード」も好調に推移いたしました。

婦人靴は、紳士靴同様「リーガルウォーカー」が、百貨店を中心に取扱い店舗数が順調に増加し、販促施策の効果もあって、大きく売上を伸ばしました。また百貨店、専門店等業態ごとのオリジナルアイテムの提案等も実施し、きめ細やかなMDへの対応を図り売上増加に貢献いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は8,723百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は480百万円（前年同四半期比30.5%増）となりました。

(その他)

不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は210百万円（前年同四半期比21.5%増）、営業利益は96百万円（前年同四半期営業利益３百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、29,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ356百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少646百万円、受取手形及び売掛金の減少502百万円、商品及び製品の増加554百万円、投資有価証券の増加294百万円などによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における負債は、18,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,187百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少308百万円、短期借入金の減少466百万円、長期借入金の減少258百万円などによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、10,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ831百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加854百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第２四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成24年５月15日に公表いたしました平成25年３月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成24年11月２日)公表いたしました「平成25年３月期第２四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第２四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,465	2,818
受取手形及び売掛金	6,210	5,708
商品及び製品	6,110	6,665
仕掛品	217	237
原材料及び貯蔵品	473	519
その他	1,005	977
貸倒引当金	△401	△401
流動資産合計	17,081	16,524
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,290	2,290
その他（純額）	2,450	2,384
有形固定資産合計	4,741	4,675
無形固定資産		
のれん	48	34
電話加入権	25	25
ソフトウエア	23	18
その他	1	1
無形固定資産合計	99	79
投資その他の資産		
投資有価証券	4,670	4,964
敷金及び保証金	1,425	1,430
その他	1,911	1,897
貸倒引当金	△156	△156
投資その他の資産合計	7,850	8,136
固定資産合計	12,691	12,891
資産合計	29,772	29,416

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,415	4,106
短期借入金	5,427	4,961
未払法人税等	186	403
賞与引当金	441	491
ポイント引当金	542	574
店舗閉鎖損失引当金	1	8
その他	2,203	1,873
流動負債合計	13,218	12,419
固定負債		
長期借入金	1,470	1,212
退職給付引当金	3,272	3,248
移転関連損失引当金	221	221
資産除去債務	187	190
その他	1,528	1,419
固定負債合計	6,680	6,292
負債合計	19,899	18,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,355	5,355
資本剰余金	690	690
利益剰余金	3,586	4,441
自己株式	△417	△417
株主資本合計	9,215	10,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	13
繰延ヘッジ損益	△3	△0
土地再評価差額金	613	610
為替換算調整勘定	△58	△65
その他の包括利益累計額合計	587	557
新株予約権	22	22
少数株主持分	47	54
純資産合計	9,873	10,704
負債純資産合計	29,772	29,416

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	16,211	16,970
売上原価	8,840	9,093
売上総利益	7,370	7,877
販売費及び一般管理費	6,576	6,844
営業利益	794	1,032
営業外収益		
受取利息	15	7
受取配当金	13	12
持分法による投資利益	96	340
雑収入	47	74
営業外収益合計	171	434
営業外費用		
支払利息	66	54
売上割引	17	17
デリバティブ評価損	17	－
雑支出	9	30
営業外費用合計	111	102
経常利益	854	1,364
特別損失		
固定資産除却損	10	8
貸倒引当金繰入額	0	－
投資有価証券評価損	182	－
その他	0	0
特別損失合計	193	8
税金等調整前四半期純利益	661	1,356
法人税、住民税及び事業税	62	407
法人税等調整額	139	0
法人税等合計	202	407
少数株主損益調整前四半期純利益	458	948
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△0	3
四半期純利益	459	945

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	458	948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	△17
為替換算調整勘定	△9	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△6
その他の包括利益合計	144	△28
四半期包括利益	603	920
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	603	915
少数株主に係る四半期包括利益	0	4

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	661	1,356
減価償却費	171	158
のれん償却額	20	14
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	47	32
ポイント引当金の増減額（△は減少）	54	31
移転関連損失引当金の増減額(△は減少)	△21	－
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△1	7
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△36	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△59	△23
受取利息及び受取配当金	△28	△19
支払利息	66	54
持分法による投資損益（△は益）	△96	△340
有形固定資産除却損	10	8
投資有価証券評価損益（△は益）	182	0
売上債権の増減額（△は増加）	△354	503
たな卸資産の増減額（△は増加）	△724	△614
仕入債務の増減額（△は減少）	158	△309
未払消費税等の増減額（△は減少）	21	△128
割引手形の増減額（△は減少）	△326	－
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△2	－
その他	95	△177
小計	△157	552
利息及び配当金の受取額	49	42
利息の支払額	△64	△53
法人税等の支払額	△93	△192
営業活動によるキャッシュ・フロー	△265	349

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△39
有形固定資産の取得による支出	△20	△94
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	－	0
貸付金の回収による収入	1	6
貸付けによる支出	△6	△4
差入保証金の回収による収入	1,575	－
その他	△0	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,539	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△650	△400
長期借入れによる収入	100	－
長期借入金の返済による支出	△588	△324
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	－	△94
少数株主への配当金の支払額	△3	△6
リース債務の返済による支出	△4	△7
その他	－	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,146	△904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	119	△685
現金及び現金同等物の期首残高	1,612	3,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,731	2,779

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日　至 平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,748	8,369	16,117	93	16,211	—	16,211
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	79	79	△79	—
計	7,748	8,369	16,117	173	16,291	△79	16,211
セグメント利益	408	368	776	3	779	14	794

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日　至 平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,112	8,723	16,835	134	16,970	—	16,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	76	76	△76	—
計	8,112	8,723	16,835	210	17,046	△76	16,970
セグメント利益	453	480	934	96	1,030	2	1,032

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第２半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。